



学校だより

笑顔あふれる学校を目指して

ホームページ <http://www.koganei.ed.jp/~kogan1js/>

第10号 令和4年2月22日
小金井市立小金井第一中学校
小金井市桜町2-3-15
TEL 042-383-1161
FAX 042-382-0401

挑戦することの大切さ

校長 山中 栄治



厳しい寒さが続いています。正門中央の梅の蕾も膨らみ始め、春の兆しを感じるようになりました。早いもので、令和3年度も残すところあと1か月となりました。新型コロナウイルスの感染が続いています。マスクの着用、手指消毒の徹底、換気等の感染予防をしながら教育活動を進めていきたいと思っております。保護者・地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

さて、2月4日（金）から北京オリンピックが開催されています。昨夏の東京オリンピックでは、日本人選手が活躍し、多くの金メダルを獲得しました。北京オリンピックでも日本人選手の活躍が報道されています。男子フィギュアスケートに出場した羽生結弦選手は、94年ぶりとなるオリンピック3連覇は達成できませんでしたが、翌日の紙面には、前人未踏の4回転半（クワッドアクセル）に挑み、「金メダリストにはなれなかったが、人々の心の中で王者になった」と報道され、4位で五輪を終えました。

羽生選手は4歳の時に姉のスケート教室について行ったことをきっかけにスケートを始めました。ハードな練習でスケートが嫌いになったこともあったようですが、練習を続けた結果、10歳で国際大会に出場してメダルを獲得しました。東日本大震災が発生した3月11日は、仙台市のスケートリンクでの練習中に大きな揺れで、スケート靴を履いたまま外へ避難したそうです。大震災により多くの死者と行方不明者が発生し、避難生活を多くの方が続けている状況の中で悩みながらも練習を継続し、度重なるけがを乗り越え、ソチと平昌で66年ぶりのオリンピック2連覇を達成しました。

北京オリンピックに出場する背景には、まだ誰も成し遂げていない大技の4回転半を決めたいという強い思いがありました。競技後の記者会見で、「王者として守るのではなく、王者として攻めた。挑戦とは、何か。」との質問に、「僕だけが特別だとは何も思っていない、みんな生活の中で何かしら挑戦しているんだと思います。それが僕にとっての4回転半だったり、この五輪につながっていたり、ただそれだけ」と答えていました。4回転半については、「僕の心の中に9歳の自分がいて、あいつが飛べずずっと言っていたんですよ」とも答えていました。羽生選手でさえ、成功する確率は高いとは言えない4回転半、練習では体を氷に打ちつけながら取り組んできたことが分かりました。

羽生選手を含むすべてのアスリートは、メダルを取ることができなかったとしても、想像を絶するオリンピックまでの努力は、決して無駄なものではなく、努力の結果が失敗だったとしても失敗の原因を分析し、次に活かすことを知っています。だからこそ、学校は、失敗や間違いを思う存分経験できる場所であり、生徒たちの様々な失敗や間違いを認め、やり直しをサポートしなければならないと思います。夢を叶えることは簡単なことではありませんが、夢にむかって挑戦し続けている人は美しいと思います。一中の生徒たちが、大きな夢をもって失敗や間違いを恐れずに挑戦できる学校を作っていきたいと思っております。

令和3年度学校アンケート集計結果（12月実施）



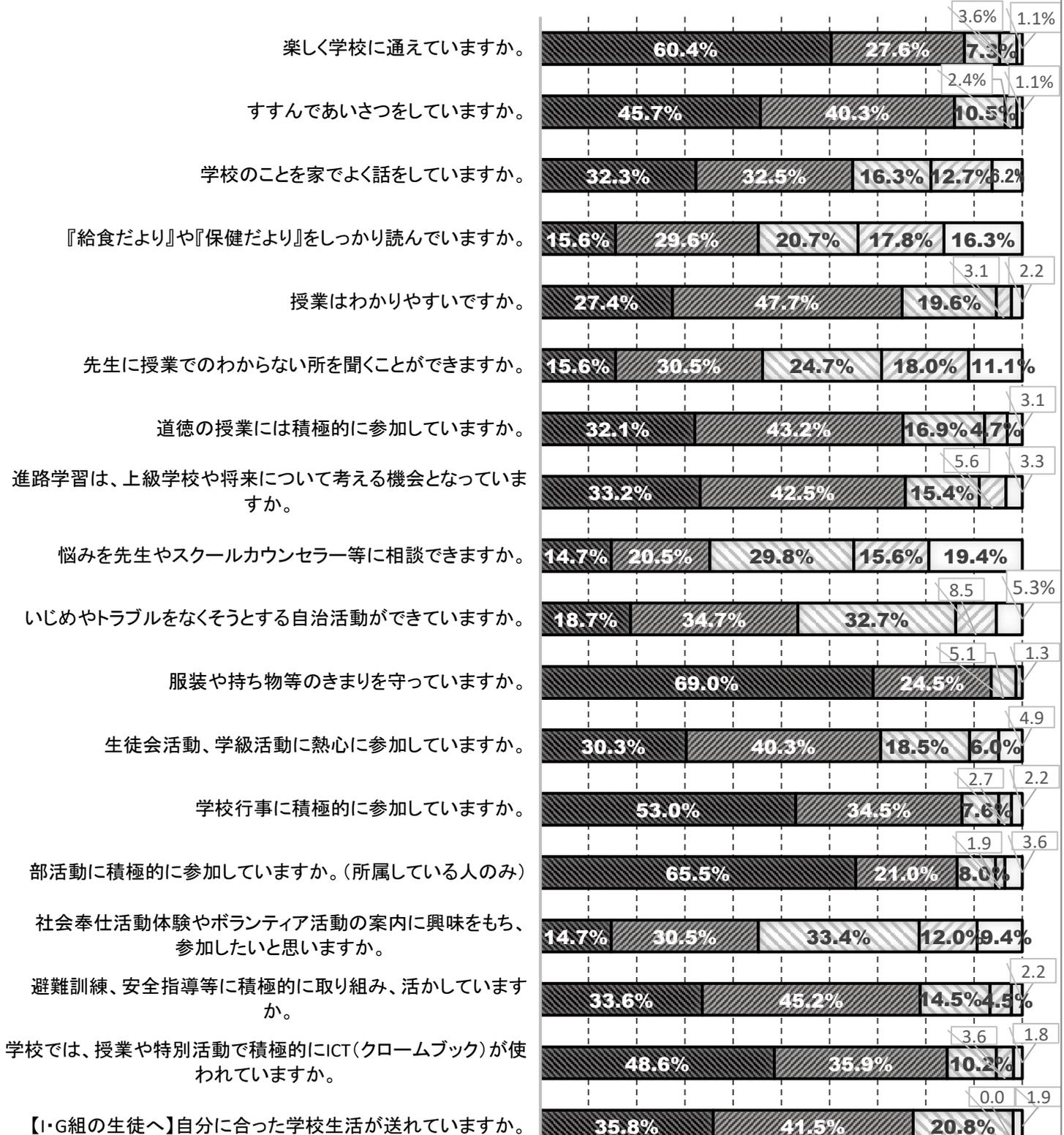
生徒、保護者対象の「令和3年度学校アンケート」結果がまとまりましたので、御報告いたします。御協力ありがとうございました。

- ・生徒アンケート…回答率91%（I，G組含む）
- ・保護者アンケート…回答率73%

令和3年度 生徒アンケート【全学年】 回答率91%

■ そう思う ■ だいたいそう思う □ どちらでもない □ あまりそう思わない □ そう思わない

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

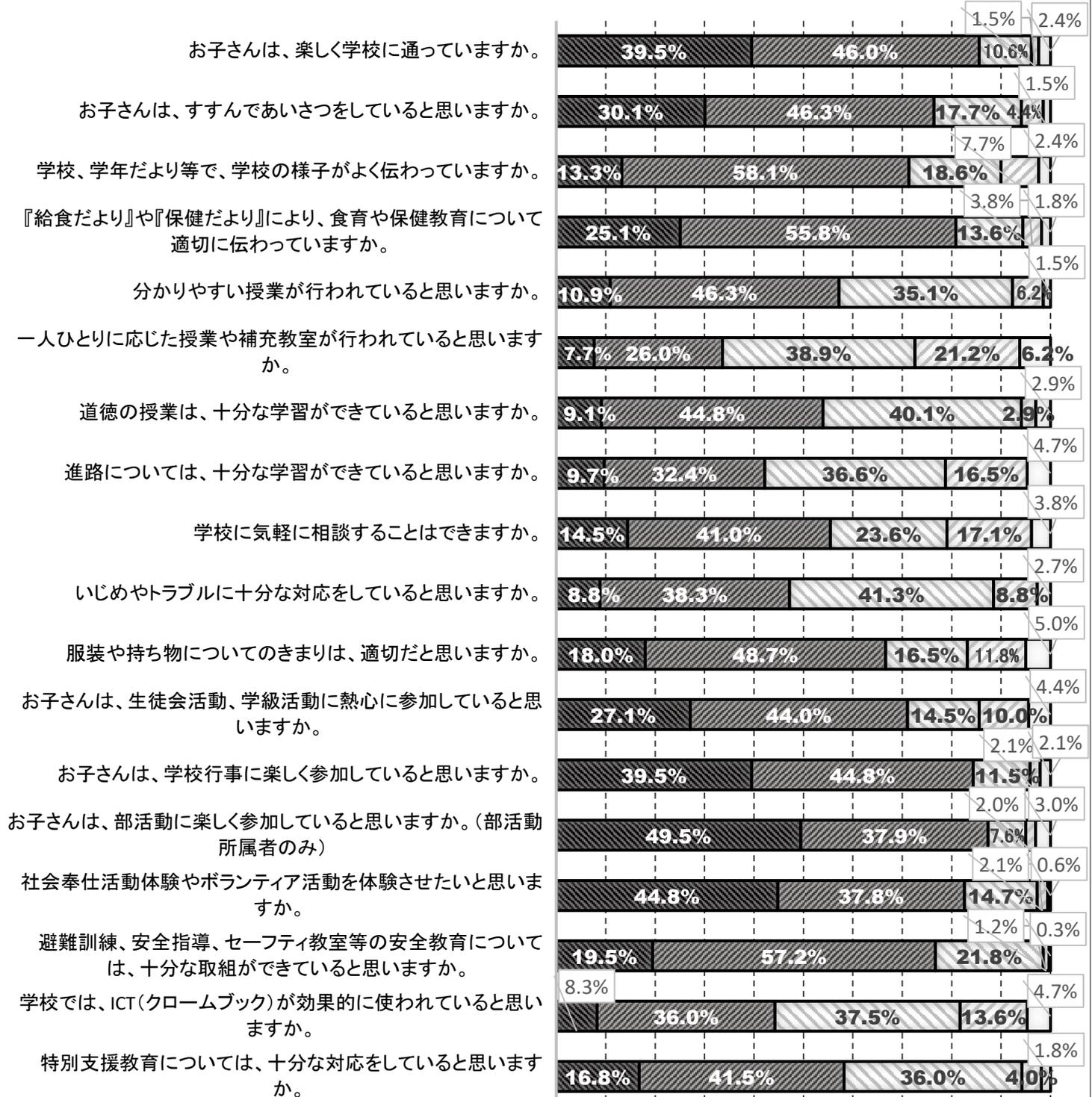


- 保護者アンケートから、「そう思う」「だいたいそう思う」の肯定的な御回答がいただけたのは、「楽しく学校に通っている」「学校行事に楽しく参加している」「部活動に楽しく参加している」という点でした。ありがとうございます。
- 「個に応じた授業や補充教室」「進路学習」「いじめやトラブルの対応」の項目について「どちらでもない」という回答が多かったです。今後、保護者の方々にも実感いただけるよう、積極的に周知していきます。
- また、今年度より設問を増やしたICT（クラウドブック）の活用についても「どちらでもない」が多かったです。
- 生徒アンケートでは、「『給食だより』『保健だより』を読んでいる」、「先生やSCに相談できる」「社会奉仕活動体験等に興味をもち、参加したい」の項目が低かったです。教職員一同、真摯に受け止め対応策を検討します。

令和3年度 保護者アンケート【全学年】 回答率73%

■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ どちらでもない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%





●いつも子供がお世話になっています。我が子は毎日楽しく通っています。コロナ禍でなかなかコロナ以前のような活動というのはまだ難しいと思いますが、中学生の時期ならではの経験を重ね、知識を深めてもらいたいです。引き続きよろしくお願ひ致します（1年保護者）

●給食が美味しいとの事です。ありがとうございます。（2年保護者）

●先生方にはとても親身になって頂き、受験生としての1年間を安心しておまかせする事ができました。ありがとうございました。担任の先生を息子はとても信頼しています。（3年保護者）

◆御意見や御要望の一部

今年度から、Googleドライブでのアンケートを導入しました。ご協力いただき、貴重なご意見をありがとうございました。ご意見はすべて全教職員で共有いたしました。次年度に、生かしていきたいと思ひます。以下、複数意見への回答を掲載します。

- ・授業や行事（運動会・ふじがね祭）の公開をしてほしい。
⇒ 群を抜いて多かったご意見です。ごもっともです。現在何よりも生徒の安全対策を優先しつつ、検討中です。ただし、感染状況やまん延防止措置の動向によりますので、ご理解ください。
- ・標準服登校、体操着登校について
⇒ 感染症対策として洗濯しやすい体操着がよい、やはり標準服がよいというご意見ほぼ同数でした。現在は、密になりやすい更衣室での更衣を避ける目的で体育があるときのみ体操着登校としています。
- ・三者面談のみではなく、二者面談の機会を設けてほしい。また、学年主任、管理職の先生に伝えたいことがある場合の連絡手段をお便り等で伝えてほしい。
⇒ まずは、ご連絡ください。二者面談という機会は全員にはありませんが、担任と話したいことがあれば担任は時間をとります。また、管理職との面談も同様です。学校の代表番号は（042-383-1161）です。
- ・カバンが重すぎる、「置き勉」指導のあり方について
⇒ クロームブックも加わり重いことは否めない事実です。また、現在実技教科の教科書、資料集等は置いていいことになっていますが、大掃除、長期休業前には荷物持ち帰りの指導をしています。持ち帰り教材については、今後検討が必要ですが、特に学期末持ち帰りについては計画的に持ち帰る指導をしていきます。
- ・靴下の色について
⇒ 次年度からの変更に向けて、そのための準備等については今後生活指導部よりご連絡します。

G組 舞台「土管の中へ」2月15日（火）

今年度の劇はゲームでおなじみのマリオの活躍を描いた作品でした。セリフもわかりやすく、細かいところまで気を配った迫真の演技、そして、笑いあり、感動ありの作品でした。G組のみんなは観客の1組生徒、校長先生をはじめとした教職員を前に堂々と演技をすることができました。とても楽しいひとときでした。来年度は「劇と音楽の会」でもっと大きな舞台でみなさんの演技を見たいです。



活躍する一中生！

テニス部

中体連第8ブロック冬季大会 男子予選リーグ
3位（ 、 、 、 、 ）

卓球部

第64回東京都中学校新人卓球大会
男子団体の部 ベスト16

吹奏楽部

3/13、3/26に演奏会を控えています。限られた練習日を大切に、本番で良い演奏ができるよう頑張ります。応援よろしくお願ひします！

小金井市からのお知らせ

（仮称）小金井市教育支援センター基本構想（案）に対する意見を募集しています。

小金井市では、就学前からの切れ目のない支援体制として、各種専門職からなるチームによる支援体制を確立するため、（仮称）小金井市教育支援センターの計画（案）を作成しました。本計画（案）について、皆さんの貴重なご意見をお寄せください。

提出期間

令和4年2月24日（木）から令和4年3月25日（金）まで

詳細については、市ホームページ又は意見提出フォームを

ご覧ください。（こちらのQRコードから意見提出フォームを開くことができます。）

